



熊本市
Kumamoto City



限定オリジナルデザイン ボトルが完成しました



本市が実施している「熊本の水ブランディング」では、SDGsの理念を踏まえ、市民のマイボトル利用促進を目的として、魔法びんのパイオニアである「サーモス株式会社」との連携協定を今年3月25日に締結しました。この協定を契機に、熊本の豊かな地下水を守るため、さらなる地下水保全活動に取り組みます。

デザインテーマは「熊本水物語」

熊本の水の豊かさを知り、地下水保全活動について興味を持ってもらうために、限定オリジナルデザインボトルを制作・販売します。描かれている英文字「Kumamoto's Tale of Water」は、熊本水物語という意味。阿蘇で生まれた地下水が、加藤清正公をはじめ先人の知恵と努力によってますます豊富になり、熊本の自然、歴史、文化、産業等さまざまな物語を織りなしていることを表現しています。



阿蘇

阿蘇外輪山に降り注いだ雨の約1/3は地下水となり、約20年の歳月をかけて磨かれます。その間、ミネラル分や炭酸分がバランスよく溶け込むため、蛇口をひねれば天然のミネラルウォーターが出てくるぜいたくを味わえます。



加藤清正

熊本城を築いた加藤清正公は、治水・利水工事を手がけたことでも有名。中でも、水が浸透しやすい白川中流域で行った大規模な水田開発は、現在の「地下水かん養事業」につながっています。



豊かな湧水量

本市は、日本の人口50万人以上の都市としては唯一、水道水の100%を地下水で賄っています。上下水道局ではこの貴重な資源を有効活用するため、水圧のコントロールや水質管理など、水道水を24時間365日管理しています。



盛り込まれた3つのキーワード

限定オリジナルデザインボトルの取扱店

- 上下水道局6階 経営企画課(郵送販売可)
 - 熊本城二の丸お休み処
 - 熊本城本丸お休み処
 - 動植物園売店
 - Yahoo!ショッピング「熊本城売店」
- 1個2,000円(税込)(容量:350ml、保温・保冷両対応)

知っていますか?

恵まれているからこそ気づきにくい、地下水が抱える課題

昭和37年と比較すると湧水量は約66%に……



熊本の豊かな水を象徴する江津湖

豊かな地下水に恵まれている本市ですが、実は江津湖の湧水量は昭和37年の86.4万m³/日と比べると、大幅に減っています。理由は地下水かん養域の都市化や米の消費量の低下による水田の減少など。近年は白川中流域の地下水かん養事業等さまざまな取り組みが功を奏し、湧水量は回復傾向にあります。一人ひとりができることを心がけ、かけがえのない資源を守っていきましょう。

